

# 夕刊 磐城時報

九日  
編輯部 印刷部  
發行所 磐城時報社  
電話 一三三三番  
廣告料 一行十二ヶ月金廿五  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 建國祭式典に 國難打開を宣誓

### 第一校の式場で 青沼平市長朗讀

平市の建國祭式典は既報の如く二月十一日午前十時半第一校で舉行するが、當日左の如く宣誓を行ふ筈である。

宣誓文  
巽に政府は今事の支那事變に對する帝國不動の根本方針を中外に聲明し併せて國民の奮ふべき途を示せり、時局益々重大性を加へ、後國民の責任愈々重加せるを痛感す、吾

## 日本無産の關係者 十三名を釋放

### 横田警部が訓戒 大井川に既に下獄

昨年十二月十五日午前六時横田警部が來平、平署に於てを期し全國一齊に檢査され、留置中の日本無産黨關係本を平署關係者十五名のうち、春茂、元日本坑夫組合關係指導者と見られてゐる大井小野誠一郎の四名に嚴重訓戒、加藤木誠一郎兩名戒を加へ一先づ釋放した。は福島署に護送され、殘る尚ほ殘る九名小宅三治、阿十三名は平、四倉、植田、部留吉、石川武夫、淺野真、當岡の各署に分けて留置中、一、島田春夫、馬場京助、であつたが九日縣特高課長佐藤清長、古川馨六、丸山通知があつたので平署では動員の標語を使用する。

八日平市第一校△二十日  
好間村△二十四日植田町  
△二十四日植田町

## 好間村の 廣川君戦死

### 好間村字堂田出身特務兵 廣川君は二月一日病院船 以上全部治安維持法違反事 件として書類は平檢事局に 送致される筈である。大井 川幸隆は曩に判決をうけた 懲役三年の控訴を取下げ目 下刑務所に服役してゐる。

## 補充兵の 指導日割

### △二月十七日四倉町△十八日 錦村では昨年十二月村會で 議決された隔離病舎を工費 五千圓で同村地内陸砂地 に建設計劃を進めた處また 大字區民の猛烈な反對 運動が起り行儀となつて

## 藥劑士の酌婦とは 眞赤な偽り

### 平署で身元を追窮

小名濱町仲町料理店諏訪館八日偽名の工藤あり子を召  
事鈴木ますさん方拘酌婦自願取調中である。

稱青森縣東津輕郡後湯村大  
字平野喜三郎長女工藤あり  
子(二六)は東京女子藥學專  
門學校を卒業したが事情あ  
りて酌婦になり前借五百三  
十圓で苦界に身を沈めたを  
つて酌婦になり前借五百三  
十圓で苦界に身を沈めたを  
つて酌婦になり前借五百三  
十圓で苦界に身を沈めたを

二月十一日から實施される  
國民精神總動員第二回強調  
週間中平局では一般に時局  
の認識を深める意味で週間  
中自動押印機に國民精神總  
動員の標語を使用する。

## 子供の弄火から 二戸五棟を全焼

### 飼馬三頭焼死

八日午前十一時半頃磐城村回分として霜袴袴下の縫製  
藤原字二枚橋農村上光雄方作業品が到着したので早速  
馬小屋から發火し同家及び希望這家族に配分する事に  
隣家の村上忠造方を焼いて  
午後一時半頃全部で住家非  
住家五棟を焼き漸やく鎮火  
した、この火事で馬三頭が  
焼死した。損害約三千圓で  
原因は光雄の四男武  
(六七)が患患の孫ツヂ(七  
六)と遊戯中武が馬小屋の  
軒下に積み重ねておいた糞  
尿に火をつけたのが大事に  
至つたものである。

## 中堅講演 郡農會長 鷺氏に決定

石城郡農會總會は昨報の如  
く役員改選の結果左の如く  
決定した。

## 出征軍人の 遺族に授産

平市では應召軍人遺族に對  
する授産事業として陸軍總  
製作業を幹施し好成績を擧  
げてゐるが、八日更に第三  
回授産式が舉行する。

## 特務兵に感謝せよ 上海戦線の感想

### 乾輜重兵部隊長の信通

(中)  
追而皆様からでも感謝  
状をあげて下さい。又愛  
國以上苦しめられたと申  
して居ります。至る所煙  
管で支那刻菓を美味しそ  
うに仲のよい呑み合ひで  
呑んで居りました。此の  
外〇團長初め馬將校中  
細き橋梁より暗夜勇敢に  
飛込み者(陸落)將校行李  
と駄馬諸共(クリ)演  
けとなり後に開いて見て

## 藤庄太郎(神谷)永山忠二 大谷久藏氏 遂に急逝

### 立志傳中の人

平市三丁目平市會議員大谷  
武雄氏嚴父大谷久藏氏は一  
月二十九日以來風邪で療養  
中の處急性肺炎を併發、八  
日午後七時半死去した、葬  
儀は松あげ後執行する。  
大谷氏は平庶民金庫の前  
身である平信用組合の創  
設者で現在顧問を勤めて  
ゐた、外磐城建物株式會  
社、石城販賣利用組合、  
株式會社丸ほん商店等の  
重役で實業界に活躍して  
ゐた傍ら平町會議員たる  
事十二年地方自治に對す  
る貢献も少なくない。

## 農産品評授與式 鷺氏に決定

評會入賞六十点に對する賞  
状授與式は九日草野村公會  
會堂で舉行する。

## 慰問映畫會 市內 中平青年團で十日午後 七時から第四小學校講堂に 出征兵遺族慰安並に國防獻 金募集の映畫會を開く。

### 牛豚肉

平町田町  
三三三三屋  
電話三三三番

### 文魁文堂

ウエル萬年筆  
ムツリローニペン  
ゼネラルカーボン紙

京西北方十五里の〇〇を  
中心に集結し、寅年を迎ふ  
ると同時に千里を走る虎  
州皇軍の足跡を印せる處  
なき迄に活躍すべく準備  
中で御座います。小生も  
此間〇〇の「エネルギー」  
注入役として第一線將兵  
に劣らず活躍して來たつ  
に劣らず活躍して來たつ  
に劣らず活躍して來たつ  
に劣らず活躍して來たつ

### ベークライト 職工見習募集

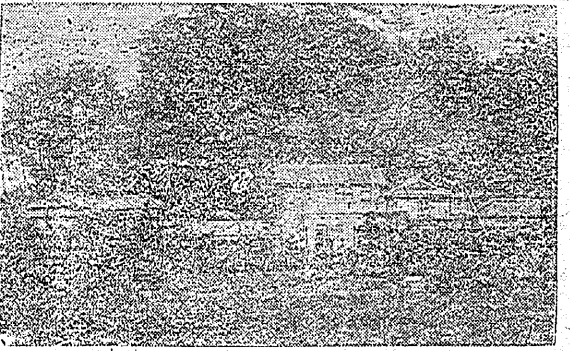
一、募集人員 三十名  
 二、年齢 十四歳以上二十歳迄の男子  
 待遇 十四才、十六才日給 七十五銭  
 十七才、十八才 八十銭  
 十九才、二十才 一圓  
 技術修得ト共ニ漸次昇給ス  
 一、寄宿舎ノ設備アリ、賄料ハ實費  
 二、申込所 平市職業紹介所  
 詳細ハ平市職業紹介所に紹介され度シ  
 東市大森區大森町  
 入新井町七丁目二六二  
**シクニ工業所**  
 電話六九〇九番



福島縣平市  
**塩屋**  
 電話一〇二七番  
 電話一九七五番  
 明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

一、煉炭 各種 特價販賣  
 一、豆炭 薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス  
 平 驛 前  
**阿部石炭商店**  
 電話三十七番

干やなぎの御注文は  
 いかが切込  
 せひ **仙魚店**へ!!!  
 御祝儀用 鯉節  
 御進物用 鯉節  
 特に体裁優美格安に勉強仕ります  
 鯉 鹽 辛 もあります  
**丸仙魚店**  
 平市土橋 (電話六六二番)



「季節珍味」  
**小鳥料理**  
 常磐線湯本驛  
 鐵道指定旅館  
 割烹  
**小瀧鑛泉**  
 電話小名濱〇三

外科一般レントゲン科  
 内臓外科 泌尿器科  
**北川外科**  
 醫學博士 北川芳夫  
 醫師 三浦常保  
 平市新川町二七  
 電話四六四番

### 互融會事業報告 十二月中

融通口數 二六七四口  
 融通金額 一五、九〇九、六七〇  
 滿期拂戻口數 一〇六〇口  
 滿期拂戻金額 五、六七〇、〇〇〇  
 概況 昭和十三年十二月末現在  
 會員數 八、七五六口  
 世帯數 五、六八一戸  
 積立金 一、二六、一七三、〇七  
 融通金額 一、五、九〇九、六七〇  
 融通金回収高 六、六、三三、〇七  
 滿期拂戻口數 六、八四〇口  
 滿期拂戻金額 二、九、三三、〇〇  
 大平火災海上保險株式會社中央代理店  
**石城中小商工互融會**  
 事務所 福島縣平市播磨小路一番地  
 電話五五五番  
 小名濱方部 湯本方部  
 小名濱町古港 湯本町天王崎  
 菊田方部 相双支部  
 植田町臺町 原町東一番町

和洋鋼鐵金物問屋  
**久金屋商店**  
 諸橋久太郎  
 電話九九番

産科 婦人科 院長 木村寅次郎  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 藥局 藥劑師 大岩俊雄  
 平市新川町十九  
**木村病院**  
 入院隨意 病室完備  
 電話一六四番

入山探炭株式會社取締役坑務所長  
 吉田宗儀豫テ病氣ノ處本月七日  
 午後三時四十分福島縣湯本町坑務  
 所ニ於テ死去致シ候間此段謹告仕  
 候  
 追テ葬儀ハ本月十日午後二時坑務所自治會  
 館ニ於テ社葬ヲ以テ執行可仕候  
 昭和十三年二月八日  
 男 吉田宗孝  
 親戚一同  
 入山探炭株式會社

魚召すから  
**ヒマム凍魚**  
 鯛 マナ鯉ノガサキ  
 エビ 甘鯛 立貝  
 白魚 カナヘシ 貝焼  
 日本水産三手特約會三三六、一六番  
 卸小賣 平製米會社  
 長澤店 小印魚問屋  
 四丁目五二八番  
 新鮮な冷凍具焼あります

お惣菜用とつま揚・吉原揚  
**折詰生造**  
 平町一丁目  
**不存堂**  
 電話一四一番